

技術部長のあいさつ



明石 行生

工学は人間社会の持続的発展を可能にするための技術の学問体系です。福井大学工学部は 5 学科、工学研究科は博士前期課程が 3 専攻 14 コース、博士後期課程が 1 専攻を擁し、日本海側では最大規模で、工学のほぼすべての分野を網羅しています。それに応じて、必要となる技術も工作技術、計測技術、解析技術、制御技術など多岐に渡ります。また、ひと口に技術と言っても、伝統的・基礎的な技術から最先端技術まで幅広い側面を持っています。工学部技術部は、このようなさまざまな技術に対応できる高度な技術者集団です。

技術部は工学部と共に歩み、長い歴史と伝統がありますが、組織形態は時代の要請に合わせて変遷してきました。特に、現今の厳しい大学経営の影響は技術部にも波及しています。限られた人材を最大限に生かすことを目的に、これまでの組織の在り方に関するさまざまな検討がなされ、その結果は 2009 年に報告「組織業務の在り方と具体的活動の推進について」としてまとめられました。その報告に基づき、現在の技術部は 3 室 6 班体制をとり、また技術業務は業務遂行グループ制で行われています。業務遂行グループは、

1. 技術相談・プロジェクトグループ
2. 共同利用施設グループ
3. 実験・実習グループ
4. 安全衛生管理推進グループ

の 4 つから成り、統括技術長、技術長、専門員を除くすべての技術部職員は、2 つの業務グループに所属して技術業務を行っています。

技術部の業務内容は、学生や教職員に対する技術指導や実験・実習指導だけではなく、さまざまな機器の設計・製作や開発・試作、計測技術や解析技術の開発、分析機器による測定、建築・建設材料の構造試験、薬品および高圧ガスボンベ管理・安全講習会など安全衛生活動、コンピュータのソフトウェア、ハードウェア、システム等の開発および維持・管理、さらには工学部・学科・研究室等のネットワーク、サーバ、ホームページの運用・管理まで多方面に及んでいます。さらに、公開講座や福井大学きてみてフェア等の活動を通じて、社会貢献

も積極的に行っています。

工学部・工学研究科の教育研究活動は高水準を保ち、また、就職率の高さや就職後の離職率の低さも大きな特色になっています。このような高い実績には技術部の多年に渡る蓄積と成果も大きく貢献しています。工学部・工学研究科の教育研究は技術部なしで成り立ち得ません。前身の福井工業高等専門学校(大正12年創立)から100年が経とうとしています。工学部・工学研究科のさらなる飛躍に向け、教員・事務職員と協働して、技術部も積極的に活動して行きたいと考えています。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。